

令和6年度東京都立南葛飾高等学校（全日制課程）学校経営計画

I 目指す学校像

本校は、昭和15年に東京府立第十六高等女学校として創設されて以来、社会に貢献する有為な人材を育成してきた。本校は、「自他の敬愛と協力の精神をもち、変化する社会に対応できる自主性と創造力に富んだ人間の育成」を教育目標に掲げ、教職員一丸となり組織の力を活用して、目指す学校像の実現に向け教育活動を積極的に推進する。

【目指す学校像】

- (1) 生徒の心を育て、自主性と創造力を伸ばす学校
- (2) 生徒の学力向上を最大限に支援し、進路希望を実現する学校
- (3) 地域とともにあり、地域と協力して社会貢献する学校
- (4) 入学した生徒全員が、「学ぶ喜び」を実感し本校を母校として卒業する学校

II 中期的重点目標

南葛は、生徒一人一人に寄り添い、個に応じたきめ細かな指導で生徒を丁寧に育てることにより、目指す学校像を実現し、教育目標を達成するために次の教育実践を行う。

- (1) 自己の在り方や生き方を考えさせ、心を育てる教育を推進する。
- (2) 探究学習を充実させ、進路実現を目指す生徒を支援する体制を強化する。
- (3) 在京外国人生徒への支援及び指導体制をより一層充実する。
- (4) 教育現場にふさわしい整理・整頓を進め、組織的、計画的な学校運営を推進する。

以上の教育活動を、新しい南葛を創る活動の中心に位置付け、「生徒の心を育て、未来をはぐくむ あたらしい南葛」をスローガンとして取り組んでいく。

III 今年度の取組目標と方策 ★：今年度重点的に取り組む項目

1 学習指導の充実

- (1) 探究学習活動の充実に徹底して取り組む。
 - ア 全ての教科・科目において、探究的な学習活動を取り入れる。★
 - イ 各学年で、探究学習の成果を発表する機会を設ける。★
 - ウ 放課後探究教室や外部連携による探究活動に取り組み、探究活動を充実させる。
- (2) 学び直しや基礎学力を確実に身に付けさせる指導を徹底する。
 - ア 生徒の基礎学力を把握し、個に応じた学び直しの機会を設ける。
 - イ 基礎力診断テストとその関連ツールを徹底的に活用する。
 - ウ 朝学習を組織的、計画的に実施する。
 - エ 教科指導に実施する前に、定期考査問題を作成する。
- (3) 日本語指導を充実し、在京外国人生徒の学習活動や学校生活を支援する。
 - ア 在京生の日本語力を把握し、個に応じた支援を充実させて日本語力向上を図る。★
 - イ 外部機関との連携をより一層進め、あらゆる手段を活用して日本語指導を充実する。
 - ウ 在京外国人生徒支援委員会による組織的支援を継続する。
- (4) 主体的・対話的で深い学びを実現するために、組織的な授業改善の取組を推進する。
 - ア 探究活動を取り入れた研究授業を実施し、研究協議を行う。
 - イ 全教員が「授業実施指針」に基づく授業づくりを推進する。
 - ウ 研究授業を組織的に実施し、学校全体で授業改善に取り組む。★
- (5) 教育環境のDX化を推進する。

- ア DX推進校としての施設設備の充実にに向けた準備を進める。
- イ ICTを活用した授業作りを徹底して進める。
- ウ 一人一台端末を生徒が毎日学校で使うよう、授業やHR等での活用を進める。★

2 進路指導

- (1) 高い志をはぐくみ、目標に向かって努力する生徒を支援する進路指導を推進する。
 - ア 多様な進路希望にきめ細やかに対応し、生徒一人一人の進路希望を実現する。
 - イ 進路指導のスケジュールを全校周知するとともに、Classiを活用して保護者に確実に伝える。★
 - ウ 進路指導部と各学年が指導方針や指導上の課題を共有する。
- (2) 3年間を見通したキャリア教育体制をより一層充実する。
 - ア 介護体験、保育体験、地域行事、ボランティア活動への参加等、体験を重視した活動を推進する。
- (3) 大学進学、看護系専門学校、公務員就職等を希望する生徒への支援体制を強化する。
 - ア 土曜講習会、放課後自習室、試験前勉強会、探究教室等、なんチャレの活動を推進する。
 - イ 英語検定、漢字検定等の検定受験を促進する。

3 生活指導

- (1) より良い学校生活の在り方を生徒とともに考え、実現していく組織的な生活指導を推進する。
 - ア 合理的排除に基づく指導をなくす。
 - イ 生活指導ルールを丁寧に説明し、理解と納得を前提とした生活指導を行う。
 - ウ 生徒指導部と学年他が指導方針を共有し、校内が一致した組織的な生活指導を行う。
 - エ 学校のルールの見直しを行う。生徒の意見を反映したルール作りを行う。★
- (2) 規則正しく、安全安心な学校生活を送るための指導、危険を予測し回避するための指導を推進する。
 - ア 自転車運転の法令順守の指導を行う。登下校時のヘルメット着用を徹底する。★
 - イ 身だしなみ指導、遅刻指導等は、全教職員が協力して組織的、計画的に行う。
 - ウ いじめや暴力を絶対に許さない。いじめの早期発見、早期対応に努め、組織的に対応する。
- (3) 教育相談を推進して、生徒の心を育てるための指導や支援を充実する。
 - ア 自立支援委員会を中心とした組織的な教育相談体制を推進する。
 - イ スクリーニングを活用し、必要に応じて合理的配慮に基づく取組を推進する。
 - ウ SOSの出し方に関する教育、自殺防止の取組を組織的、計画的に行う。

4 特別活動、部活動、その他

- (1) 体育祭、文化祭(南葛祭)等の学校行事を充実させる。
 - ア 準備期間のスケジュールを明確にして、委員会活動の内容を全職員が共有する。
 - イ 生徒指導部と学年が連携し、生徒の創意工夫の実現を支援する。
 - ウ 保護者に公開する。PTAとの連携を進める。
- (2) 生徒会活動を活性化し、生徒の意見を代表し、課題解決に向けて活動するよう指導する。
 - ア 生徒会が学校生活の改善要望の取りまとめを行い、生活指導規定や校則を見直す。
 - イ 学校生活のルール作りを進める過程において、生徒や生徒会と対話する機会を設ける。
 - ウ 民主主義を体験できる学校生活を実現する。
- (3) 社会で必要とされる力を身に付けさせる活動を推進する。
 - ア 全生徒に対して人権教育を推進する。★
 - イ ソーシャルスキルトレーニング等の人間関係づくり、主権者教育、消費者教育等に取り組む。
 - ウ 図書館の利用を促進する。学年単位でビブリオバトル校内予選に参加する。
- (4) ホームルーム活動、委員会活動を活性化し、身の回りの課題を生徒自身の力で解決する態度を養う。
 - ア 生徒同士の間人間関係をはぐくむホームルーム活動を行う。
 - イ 委員会には、活動目標の設定し、活動スケジュールや活動内容を明確にして運営する。

- (5) 部活動を推進し、目標に向かって努力する心をはぐくむ。
 - ア 部活動ガイドラインを遵守した活動を行う。
 - イ 活動計画や活動内容をホームページに掲載し、定期的に更新する。
- (6) 部活動、委員会活動、ホームルーム活動を通じたボランティアや地域貢献を推進する。
 - ア 葛飾区や近隣小中学校、地域社会と連携したボランティア活動に取り組む。

5 学校運営

- (1) 校内の整理整頓を徹底して行い、学習環境、執務環境の美化、整備を進める。
 - ア 机上整理、定期的な職員室・準備室・教材室の大掃除、不要物の廃棄を行う。★
 - イ 生徒用机・いす、教員用机・椅子等の什器の補充、交換を中長期計画に基づいて実施する。
 - ウ 安全衛生委員会による執務環境の整備、改善に努める。
- (2) 組織的、自律的な学校運営を推進する。
 - ア 教職員の心理的安定性を高める取組を推進する。
 - イ 企画調整会議に情報を集約し、年間計画に基づく計画的な学校運営を推進する。
 - イ 学校運営のICT化を推進する。ペーパーレス会議を進め、紙資料の削減に努める。
- (3) 経営企画室の学校経営への参画を推進する。
 - ア 自律経営予算の計画的な予算執行を進める。
 - イ 経営課題を解決するための機動的予算執行を行う。
 - ウ 経営企画室と分掌、学年の情報共有を徹底し、経営企画室の業務軽減を図る。
- (4) 服務事故防止研修を実施し、服務事故の防止と体罰の根絶に努める。★
- (5) 開かれた学校運営を推進する。生徒募集・広報活動に組織的、計画的に取り組む。
 - ア 授業公開、保護者会、学校行事等の公開を通じて、本校を志す中学生に伝わる取組を行う。
 - イ 葛飾区との連携を推進する。外部機関と連携した本校会場の中学生向け進路説明会を実施する。
 - ウ 学校見学会、学校説明会等の募集活動において、生徒による説明・案内を行う。
 - エ ホームページを定期的に更新し、情報発信の充実を図る。SNSを活用した広報を検討する。
- (7) 大規模災害への備えや防災対策について、組織的な体制を整備する。
 - ア 定型的な訓練からの脱却し、災害時の状況を考慮した防災訓練、避難訓練を実施する。★
- (8) ライフワークバランスを推進する。
 - ア 勤務時間外在校時間の短縮に努め、計画的な休暇の取得を促す。

IV 今年度重点目標における数値目標

1 学習指導の充実

- (1) 全員進級、全員卒業（進級率 100%、卒業率 100%）を目指す。
- (2) 研究授業を年間 30 回以上、研究協議会を年間 3 回以上実施する。
- (3) 全教員が、他の教員の授業見学を年 2 回以上行う。
- (4) 学校評価アンケートで「本校の授業は全体を通じてわかりやすく工夫されている」とする生徒の割合を 95%以上とする。

2 進路指導

- (1) 卒業時の進路決定率を 95%以上とする。（次年度受験準備を含まない）
- (2) 学校評価アンケートで「進路学習や進路指導が進路選択の参考になった」とする生徒の割合を 90%以上とする。
- (3) 4 年制大学への進学率を 45%以上とする。

3 生活指導

- (1) 学校評価アンケートで「教員は相談に親身に対応している」とする生徒の割合を 90%以上とする。
- (2) 学校評価アンケートで「時間を守ることに積極的に取り組んでいる」生徒の割合を 90%以上とする。
- (3) 学校評価アンケートで「身だしなみに関するルールを守っている」生徒の割合を 90%以上とする。

(4) 生徒の遅刻総数は前年比 30%減少を目指す。

4 特別活動、部活動、その他

(1) 生徒の部活動加入率 65%以上を達成する。

(2) 学校評価アンケートで「学校生活が楽しく充実している」とする生徒の割合を 90%以上とする。

(3) 学校評価アンケートで「今年度の体育祭が満足できた」とする生徒の割合を 90%以上とする。

(4) 学校評価アンケートで「今年度の南葛祭が満足できた」とする生徒の割合を 90%以上とする。

(5) 学校評価アンケートで「本校での生徒会活動は充実している」とする生徒の割合を 90%以上とする。

5 学校運営

(1) 推薦 4.00 倍以上、学力前期 1.30 倍以上を目標とする。

(2) 学校公開、学校説明会、個別相談会、学校見学会での来校中学生の実数 900 名以上を目指す。

(3) 全教員平均で夏休取得率 100%、年休取得 15 日以上を目指す。

(4) 教職員の心理的安定性を評価する指標を定め、評価、改善を行う。

以 上